



病院のITシステム導入を支援する情報サイトを開設

病院の医療材料や医薬品の調達・SPDのトップランナーとして知られるエム・シー・ヘルスケア。そんな同社が、「医療機関の真のパートナー」となるべく運営を開始したのが情報サイト「コトセラ」だ。医療DX支援のサービスに関する情報が網羅されており、ユーザーの評価なども閲覧できる。

SPD第一人者の指針は「医療機関の真のパートナー」

エム・シー・ヘルスケアは前身の日本ホスピタルサービスの設立以降、約30年にわたって病院の医療材料や医薬品調達・SPD、医療機器整備に関する支援業務を展開してきた。現在は全国の地域中核病院を中心に約350の医療機関が顧客となっており、SPDの第一人者として知られている。

同社の基本指針は「医療機関の真のパートナー」であること。医療材料や医薬品の調達・SPD業務に注力してきたのも、物品マネジメントを代行することで病院スタッフの負担を軽減し、医療機関の立場から患者に向き合えるよう支援したいという考えが根底に

あるのだ。

医療材料以外でも貢献していきたい

そうした考えをさらに発展させ、2022年7月から本格的にサービスを開始したのが、「コトセラ」だ。現在、医療DXや働き方改革、病院の役割の多様ななどを背景に、業務の効率化を支援するさまざまなIT・デジタルサービスが誕生している。それらに関する情報を収集、比較・検討するための検索サイトを中心に、コンシェルジュサービス、企業との面談支援も行う。コトセラ事業ユニットの板橋祐己さんは、「弊社のコトセラは医療機関の皆さまが『もつと患者さんのために時間を使えるように』というコン

セプトで開始しました。医療材料以外でも貢献していきたいと考えたのです」と語る。

病院でのIT・デジタルサービスの導入時、比較・検討がかならずしも十分ではないままに採用に至るケースが散見されたという。病院と企業の間の情報格差を埋め、病院が安心して導入できるプラットフォームを実現する。

コトセラコンシェルジュが病院の相談にも対応する

利用方法は簡単だ。会員登録すると、コトセラに登録された企業のサイトや同社が独自に作成した各サービス・商品の概略や資料、メリットのまとめ、さらにはユーザーによる口コミ・評価を閲覧できる。



エム・シー・ヘルスケア株式会社

住所：東京都港区港南2-16-1 品川イーストワンタワー 12階

現在、閲覧可能なサービスは約120点にのぼるが、いずれも同社が医療機関への導入実績などをとに選んだものばかりで、一定の品質が担保されている点も特徴だ。

さらに「コトセラコンシェルジュ」に問い合わせれば、課題の整理や紹介依頼も行える。企業担当者との面談を希望すれば、オンライン・対面の直接面談も可能だ。「最近ではRPAソリューションに関するご相談を多く頂いています」（板橋さん）

利用者は約1200医療機関に所属する約2000名で、同社の取引先病院以外が大半を占める。「医療機関様は医療DXや働き方改革など組織運営におけるさまざまな課題を抱えており、それを解決するためのITソリューション導入が今後ますます進んでいくでしょう。その際に『まずはコトセラで調べてみよう』という行動パターンを定着させていきたいです」と、板橋さんは意気込んでいる。

図 「コトセラ」のサービスイメージ

